令和7年度 決算 固定費が大幅増 市債減も厳しい財政状況

市の令和7年度各会計決算案が10月28日、市議会で認定されました。
大型のハード事業が完了し、市債（借金）残高が4年ぶりに減少した一方で、
人件費や物件費が大幅に増加するなど、厳しい財政運営となりました。

歳出が過去最大

一般会計の歳入は205億1136万円、歳出は205億46万円で、いずれも前年度比1・2㌽増。歳入は過去2番目、歳出は過去最大規模となり、翌年度へ繰り越す財源を除いた実質収支は464万円の黒字でした。

歳入のうち、自主財源の柱である市税収入は48億3271万円で、同比2・8㌽（1億3132万円）増。定額減税の終了に伴う個人市民税の増加が主な要因です。

歳出のうち、普通建設事業費は、大型事業が終了し同比18・8㌽（4億3148万円）減少しました。一方で、固定的な支出が膨らみ、人件費が同比5・0㌽（2億510万円）、物件費が同比15・8㌽（5億1372万円）の増。国の人事院勧告に基づく職員の給与改定や物価高騰の影響を受け、増額となりました。


「あやパーク」（並松町）を整備


市役所まちづくりセンターをリニューアル

基金依存強まる

市債（借金）残高は、前年度より1億1165万円減り153億4555万円。公共施設の整備事業が一段落し、令和3年度以来4年ぶりに減少しました。

基金（貯金）では、災害など緊急時に使う財政調整基金の残高が2年ぶりに増加しました。しかし、21ある基金全体の残高は3億8796万円の減。基金に頼る財政運営となりました。

財政の弾力性（ゆとり）を示す経常収支比率※1は95・5㌽。0・4㌽改善しましたが、高い数値で推移しており、財政の硬直化が進んでいます。

財政の健全性を判断する指標は、全て安全圏内。実質公債費比率※2は9・1㌽、将来負担比率※3は82・4㌽で、いずれも基準値を下回っています。

病床の適正化へ

特別会計7会計の総額は、歳入92億3308万円、歳出91億5480万円＝**右表**。実質収支は7828万円で、7会計とも黒字または収支均衡でした。公営企業会計のうち、上水道事業会計は43年連続で黒字。下水道事業会計は、令和元年度の公営企業会計移行から7年連続の赤字となりました。

病院事業会計も6年連続の赤字。患者数が減少する中でも、業務改善などに取り組み、入院・外来ともに前年度を上回る収益を確保しましたが、人件費や物価の高騰が経営を圧迫しました。現在、医療需要に見合った病床の適正化の検討を進めています。

会計別決算収支の状況

区分		歳入総額	歳出総額
一般会計		205億1,136万円	205億46万円
特別会計	市立診療所等	7,686万円	7,686万円
	農林業者労働災害共済	228万円	132万円
	国民健康保険	32億6,404万円	32億6,015万円
	介護保険	48億8,287万円	48億2,622万円
	後期高齢者医療	7億5,885万円	7億4,457万円
	駐車場	1,488万円	1,238万円
	住宅・工業団地事業	2億3,331万円	2億3,331万円
区分		事業収益	事業費用
公営企業会計	上水道事業	10億1,407万円	10億466万円
	下水道事業	16億7,513万円	17億5,535万円
	病院事業	67億803万円	69億6,404万円

※端数処理（四捨五入）の関係で、本文記載の合計額が異なります

綾部市の家計簿

市の財政を身近に感じていただくため、令和7年度の一般会計決算額（205億円）を月40万円の家計に例えてみました。

収入 全体の収入のうち「家族で働いて得たお金」（自主財源）は14万2,075円で35.5%。59.1%は「実家からの援助」に頼っている状態です。

月40万円の家計		決算額	
給料	9万4,450円	市税	48億3,271万円
雑収入	1万9,210円		
貯金の引き出し	2万8,015円		
前月からの繰越金	400円	その他	24億5,051万円
実家からの援助	23万6,526円	交付税、国・府支出金など	121億2,304万円
銀行からの借り入れ	2万1,612円	市債	11億510万円
合計	40万213円	合計	205億1,136万円



支出 物価高で「光熱水費」が大きく増加。家のリフォーム（公共施設の整備事業）が一段落し、「家屋の増改築」は減少しています。

月40万円の家計		決算額	
食費	8万4,000円	人件費	43億1,142万円
養育費・医療費	7万4,000円	扶助費	37億8,716万円
ローン返済	2万6,000円	公債費	13億3,176万円
光熱水費・通信費	7万3,600円	物件費	37億6,933万円
家屋の増改築・車の補修	3万9,200円	普通建設事業費・維持補修費など	20億135万円
保険料・町内会費・友人への貸し	5万2,800円	補助費等、投資・出資金・貸付金	27億1,566万円
子どもへの仕送り	3万4,000円	繰出金	17億4,118万円
貯金	1万6,400円	積立金	8億4,260万円
合計	40万円	合計	205億46万円



【扶助費】
児童手当、高齢者や子どもの医療費など
【物件費】委託料、消耗品費など
【普通建設事業費】
道路、学校、公園などの公共施設の建設費
【補助費等】各種団体への補助金など


「西部いきいきセンター」（物部町）を新設


こども発達支援施設「あいむ」（上野町）を開設

財政用語の解説

※1 **経常収支比率**
一般財源（市が自由に使える財源）に占める福祉施策経費や人件費など義務的な経費の割合。率が高いほど、自由に使える資金が少ないことになります。

※2 **実質公債費比率**
市債（借金）の額が適正かどうかを判断する数値。一般財源に占める借金返済額の割合です。

※3 **将来負担比率**
市が将来的に負担しなければならない可能性のある実質的な借金残高などを指標化したもの。一般会計に加え、各特別会計や第3セクターも含めた借金の額などを基に算出します。

綾部の“いいもの”を全国へ

ふるさと納税の返礼品などを募集します



市は、ふるさと納税の返礼品とあやべ特別市民制度で届ける「ふるさと産品」を募集しています。自慢の一品を全国へ発信しませんか。

ふるさと納税

寄付件数は年々増加

ふるさと納税は、生まれ育ったふるさとや応援したい自治体に寄付できる制度です。寄付件数は年々増加。昨年度は5,000件を超える寄付がありました。

こんな商品が返礼品に


肉


菓子


野菜・加工品


工芸品


宿泊・体験


地酒・食品加工品

事業者のメリット

- 全国に商品をPRできる
- 登録手数料・送料は市が負担
- 商品撮影や掲載をサポート
- 在庫や発送時期を調整できる

市ふるさと納税
公式インスタグラム

あやべ特別市民制度

リピーターの獲得にも期待

綾部市出身者やゆかりのある人などに、市を応援してもらう制度です。会員には年３回の季節の産品に加え、会報（ニュースレター）などを届けています。会員数は約1,400人で一定数の売り上げが見込め、取り寄せなどリピーター獲得にもつながります。

ふるさと産品の一例


農産物・加工品


綾部ならではの特産品


工芸品・生活雑貨

募集する産品の例

- 食品・飲料
- 季節の詰め合わせセット
- 工芸品・生活雑貨

あやべ特別市民制度の詳細は
市ホームページをご覧ください

あやべ特別市民制度で総務大臣賞を受賞

市は10月29日、福井県で開かれた全国過疎問題シンポジウムで、過疎地域持続的発展優良事例表彰の総務大臣賞を受賞しました。府内では26年ぶり、３事例目の受賞です。特産品の需要創出や地域の活性化、関係人口の増加につながる取り組みが高く評価されました。



問い合わせ　企画政策課　☎(42)4214　F(42)4406
メール：tokubetusimin@city.ayabe.lg.jp

男女共同参画社会づくり 図画・ポスターコンクール

市は、小・中学生に男女共同参画への理解を深めてもらおうと、男女共同参画社会づくり図画・ポスターコンクールを開催しました。今回の応募数は小学校331点（低学年168点、高学年163点）、中学校54点の計385点。入賞者は次の皆さんです（敬称略、順不同）。

最優秀作品



小学校低学年の部
吉﨑かん奈（西八田小3年）



中学生の部
宇野蘭紗（豊里中3年）



小学校高学年の部
織部晃大（綾部小4年）

キャッチフレーズ賞
踏み出そう
それぞれの一歩
塩見心絆（何北中3年）

小学校低学年の部
優秀＝田村紗月（西八田小3年）▽相根佑音（綾部小1年）
入賞＝四方晴乃（綾部小1年）▽油利奈々佳（豊里小3年）▽和田誠叶（同）▽大島利月（同）▽山田楓子（西八田小3年）

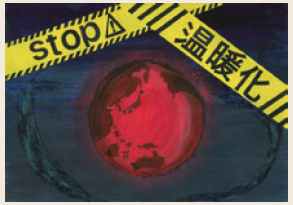
小学校高学年の部
優秀＝秋田芽愛（中筋小4年）▽梅垣來歩（豊里小4年）
入賞＝佐藤鈴（綾部小4年）▽太田翔子（同）▽松本彩世（同）▽橋本明依（中筋小4年）▽増金雪花（豊里小4年）

中学生の部
優秀＝大槻竜之介（豊里中3年）▽渡邊萌音（八田中3年）
入賞＝黒澤春陽（豊里中3年）▽西村慎平（同）▽村澤音々花（八田中3年）▽白波瀬未緒（東綾中3年）▽吉野櫂（同）

世界連邦推進綾部市小・中学生 ポスター・作文コンクール

地球市民の集い実行委員会（委員長、四方源太郎・綾部市長）が平和と環境をテーマに実施しているコンクールの受賞作品が決まりました。本年度の応募はポスター326点、作文25点。入賞者は次の皆さんです（敬称略、順不同）。

最優秀作品



Ｓｔｏｐ温暖化
白井汰緒（豊里中1年）

ポスターの部
優秀＝四方瑠音（吉美小6年）▽大治すず乃（豊里中1年）
佳作＝藤原遥（吉美小6年）▽岡村綾夏（綾部小6年）▽安坂星伶奈（八田中2年）▽石田奏介（綾部中3年）

作文の部
優秀＝近持紬（上林中2年）▽安坂星伶奈（八田中2年）
佳作＝石角優羽（何北中1年）▽梅田士煌（八田中2年）▽松本龍心翔（何北中1年）

「語る」それが今できること
小室明（八田中2年）
「戦争は人の心を失います」。語り部の菟原満さんの体験談に出会った。まちを失い、家族を失い、心を失う―。読み進めるうちに、その言葉の意味の恐ろしさが染み込んできた。「語る」という行動は、厳然たる事実を心に刻むことだ。僕は戦争がいかにむごたらしく、平和がどれだけ大切なものかを、次世代に伝えつなげていく。（要約）

夜間交通の確保へ 公共ライドシェアの実証運行を実施！



市は 12 月から、あやべ福祉フロンティア（玉川弘信理事長）に委託し、夜間の公共ライドシェアの実証運行を実施します。移動ニーズや運行上の課題を検証し、本格運行につなげます。

公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）とは、移動手段が少なくなってしまった地域で、自治体やボランティア団体などが中心となって、自家用車で移動を助ける仕組みです。実証運行では、市の公用車１台を使用し、市内の指定エリア内＝**囲み参照**＝で無料で運行します。

綾部市では、タクシーのドライバー不足等により、夜間にJRで帰着した人や救急搬送された人、飲食店を利用した人などの移動手段の確保が課題となっています。こうした状況を受け、公共ライドシェアの導入を検討しています。

実施期間 **12月1日（火）～令和9年1月10日（日）**
※12月31日（木）～令和9年1月3日（日）を除く

実施時間 **午後８時～翌日午前１時**

利用方法 **専用受付に電話で申し込み**
（受け付けは午後８時～深夜０時）

運　賃 **無料**（次年度以降は有料化を検討中）

対象エリア **綾部・中筋・吉美・西八田・山家・豊里地区**
※JR１駅分、約５km圏内を目安とします。

詳しくは市ホームページをご覧ください

源ちゃんコラム 由良川 ⑨

財源を考える責任



「保育料負担を軽減し、子育て支援を」という公約実現のために、9月から保育料の改定を行いました。所得階層をこれまでの14から25に細分化し、月平均で約4千円減額することで、近隣市と同水準の保育料に改めました。

また、12月からは高校生の通院医療費助成（負担は月額200円上限）も始めます。これは府が通院医療費助成を中学生まで拡充していただくことになったため、浮いた財源を生かして高校生まで通院費助成を拡充することにしたものです。

さらに今考えているのは、第三子以降の保育料です。育休明けに世帯収入が高くなって保育料が跳ね上がるケース（0円→月額4万2700円）を改善できないか、来年度に向けて協議しています。

私たちがこういった事業を実施する場合にはまず、「財源は大丈夫なのか？」を確認します。

国や府の交付金や補助金がなければ、市債（借金）に頼らざるを得ないこともあります。市債も後から国が7割返してくれる有利なものだと良いのですが、そういうのは一時的に財源が必要な施設の整備や専門人材の確保などに限られ、保育料減免のように継続的な財源が必要なものには当てはまりません。

市議会の一般質問でも議員さんから「無償化を、減免を」と声が上がります。その場合も私たちは「その財源をどう確保できるのか？」と、まず財源を考える責任があります。

借金をするのか、基金を取り崩すのか、何かの事業を廃止してそれを回すのか、議会でも具体的な財源確保策を合わせて提案いただければ、より良い議論になるのではないかと感じています。

皆さんの家庭でも、子どもが「これが欲しい、あれを買いたい」と言ってきても、後先考えず望むままにお金を使うことはないと思います。綾部市の財政と家計は違うものですが、よく似たものです。

私は財源を踏まえた上で、綾部市の将来を見極め、今、チャレンジすべき事業には重点的に投資するつもりです。

四方源太郎（綾部市長）

シリーズ 人権を考える

人権を考えるセミナー

9月10日に開催した第3回人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

安さの裏側、服と人権
～映画で学ぶフェアトレード～

フェアトレードストーリーテラー／シサム工房取締役　人見とも子さん


講師の人見さん

モノの背景に目を向ける

「フェアトレード」という言葉を聞いたことはありますか。発展途上国で作られた製品を適切な価格で取り引きすることで、現地の生産者や労働者の生活を支え、社会の発展を応援する貿易の仕組みです。

講演で人見さんは、インドのスラム街を舞台に、困難を乗り越えて生き生きと服を作る女性たちを追ったドキュメンタリー映画を紹介。生産者を取り巻く状況やフェアトレードの意義について、次のように語りました。

「私たちが洋服を手頃な価格で購入できる一方で、途上国の生産者が不当な労働環境や低賃金、貧困に苦しんでいる実態がある。私たちの消費行動は、地球の裏側にいる人たちの人権や暮らしと深く結び付いている。フェアトレードは一時的な支援ではなく、生産者が仕事に誇りを持ち、自らの手で未来を切り開き、自分らしく生きることを支えるための『対等なパートナーシップ』。それは、人が人を大切にすること」。

身近な商品を手にするとき、誰によって、どのように作られているのか、その背景に目を向けてみませんか。

あやべっ子もぐもぐ通信

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を提供しています。



10月23日（金）



この日は、市の特産品を使った給食を提供する「あやべ丸ごといただきます　あじわいランチの日」でした。今回のメニューは、和木梅の梅肉で漬け込んだ鶏のから揚げ。ほのかな酸味が特徴で、生徒たちは地元で取れた新米と一緒に頬張っていました。

※写真は東綾中学校。各学校の実情に応じてメニューをアレンジしています。

手話でつながろう

今月の手話

父、母

右手人さし指の指先で頬をなで下ろし、



父



母



親指を立てて上げる　　小指を立てて上げる

動画で動きを確認できます。ぜひご覧ください。

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部